

寺報

龍正寺

ひなた 182号



龍正寺本堂前にて

<令和5年7月>

宝龍会
護持会



位 職 一 言

7月・8月は御盆の月です。御家族の皆様 御先祖様の
供養いたしませう。当分では 7月9日(日)盆施餓鬼
法要をいたします。181号の続きです。

若し之を輕笑すること有らん者は、當に世々に牙齒疎欠
醜唇平鼻・平脚繚戾 眼目角眇に身體臭穢にして悪瘡膿
血水腹短氣 諸の悪重病あるべし是の故に普賢。若し是

の經典を受持せん者を見ては、當に起つて遠く迎ふべきこ
と當に仏を敬うが如くすべしと、是の普賢勸発品を説きた
まう時 恒河沙等の無量無辺の菩薩 百千万億旋陀羅尼を
得 三千大千世界微塵等の諸の菩薩普賢の道を具しぬ 仏是の
經を説きたまう時 普賢等 諸の菩薩 舍利弗等の諸の聲聞
及 心 諸の天人非人等の一切の天会皆天いに歡喜し、
仏語を受持して礼を作して去りにき

(解説) もしこれを輕んじ笑う者があるならば、いくど生れかめつてき
ても齒がまばらであったり 唇が醜かつたり 鼻が平であったり 手足がまがっ
ていたり 目が蔽にらみで瞳がまっすぐでないかたりあるいは身体
の臭いが悪く腫物ができるとあるいは腹がふくれ、気が短くなる

て行けず、というようないろいろな悪い病にかかっている。
もしこの経典を受持する者を見たならば"たゞ遠く迎えること、
またに仏さまを敬うがごとくせねば"ならぬ。この普賢観無量品に説
きたまう時、恒河沙の数ほどのたくさんの方が百千万億旋陀羅尼を
得た。これはよいことを勧め、悪いことをやめる、その働きが方々に廻
って遠くの者にもおよぶことである。普賢の道は法華経がせに
ゆるまるように努める心がけをおこしたことをいうのである。仏さまが
この経を説きたまう時に普賢等のもろもろの菩薩、舍利弗等の
もろもろの声聞、およびもろもろの天龍人非人等の一切の者が
いよいよ喜んだ。そして仏様の御言葉を受持することを心に
誓って、礼をして仏さまのご恩を感謝して立ち去った。
合掌

このお経は18日祈禱会の法要で読誦してあります。

南無妙法蓮華経

「^レ気づき」

この頃 わたくのおはすかしい気づきの出来ごとがありました!!

朝のお給仕のおさぼりが続きました... 3日~4日のことなのです

足の運びも悪くなり お盆に抱えての持ち運びももどかしくなっています

お水とこぼさぬように
お茶とこぼさぬように と...注意を致しながらですがそんなことで少しおさぼりがありました

そんな中で夜中に急におなかの具合が悪くなりまして 何度も起きました...

次の朝もダメでした ちくちくと痛いというか何か変です 18日のお寺のお参りも休

ませていただくことが思いましたが少し
ばかりラクでしたので 参拝を致しましたが
ご法話中に具合が悪くなり 早目に失礼
を致しかえりました！！

そしてその日の夜にお参りを致しておりました
時に ふっと気づきました… とうたお給仕
の横着をしてたから…おなかの具合が
悪くなったのではないかと気づきました
そして次の朝にお給仕を致しまして仏さま
ご先祖さまにお詫びをさせて頂き
反省を致しました！！
おなかの具合もそのはよりすっかり良くなりました…

仏さまは 見て下さる
聞いて下さる

知ってます

そして教えて下さる！！

教えられあって

気づかせてもらいました

なんと有りかた…！！

よろこびました…

つらいことも 苦しいことも 山のように
いっぱいある 小さなこ柄が次から次と
あります...

ブツタの教之の心の持ち方を少しづつ
上手に実践してゆけば 心のイキが
ラクになることも学びました...

心の持ち方がしっかりしていれば いろいろ
問題が起きても おたやかに自分を
見られるようになってゆける... 心が軽くなれば
身に障りも軽くなってゆくのではないで
しょうか?

こんな柄も年を重ねて参りました今
にわかることです。 人と人らしく育てていた
だけですが 仏教の学びが何より大事と

思っています 「人生ふみはずしましたか 気がつけば
そに 仏の道もあました」とお寺の入口に
記してあったが 仏さまは ずっと ずっとおそばにいて下さって
見守っていただけですが 有りがたみに 気づいて ゆかゆか
勿体なくなりました 気づきにお礼を申します 合掌

「日蓮宗新聞を読んで」

じめじめした蒸し暑い日が続く夏ですね。

その上物価高騰で経済的な問題もあり、スッキリした気持ちになれない日々ですが、寺院や自宅でお経、御題目を唱えていると、気分が落ち着いてきます。心が軽くなります。イヤイヤ軽くなってこける様になりましたが正しいかも知れません。

以前は信仰は辛抱・忍耐で心を抑えるように思っていました。時々苦しく重く感じる事もありました。そうではなく、物事をどのように冷静に考え、マイナスをプラスに転じる。自分の心を落ち着かせる。そのような事柄が「日蓮宗新聞第2507号」の“お題に生きる、「鬼面仏心」「れんこん日記」「あなたのそばに」等々満載されていました。

私自身が今、学ぶべき事が数多く書かれています。今でも時折、感情が先に立ちどうしようもなく不安になったり、激しく動揺して冷静になれない時があります。

「れんこん日記」の最後にありました。

「それでもなおかつ喜怒哀楽が激しいという人がいるとしたら、そのお題目は心の中にまで浸透していません。うわべだけのお題目になっていませんか。」この言葉に心を打ち抜かれた思いがしました。

心が落ち着くと新しい考えも浮かびます。時にはそのような事を考える事が楽しいと感じてきます。

新聞を読み、自分の振り返りをしたり、他の寺院の行事や檀信徒の方々の経馬を知る事で新たに学びや共感を得ます。今は新聞が届く日を待ちどおしくなりました。

皆様：是非購読されてはどうでしょうか。

信仰がよりわかりやすく、身近に感じられます。

「何もしていない病」

日蓮宗新聞の鬼面仏心のコーナーの文面です。

いろいろな会議に出席して感じるのは、会議中一言も発言していない人が多い事だ。もちろん質問や意見がないならそれでよい。しかし言えば嫌われたり、責任を取らされるからという人も多いのでは。そういう人程、実は反対だったなどと後で愚痴ったりする。

この文章を読んで、一昔前は自分も何もしていない人であった。自分の伝えたい事が上手くまとまらないことや、違う意見を言われるのが嫌だったり自分の考えが否定されるのが嫌だったと思う。

今では、いろいろな意見があって当たり前、すり合わせていくための方法や伝え方の言葉を知っていく方が大事だと思い、発言するようになりました。

年齢と共に自身の仕事での役割や担当で責任を持たされる事が多くなり、自身の仕事のやり方や声掛けの仕方などで批判される事もありますが、お寺の役員をさせて頂く事で多くの学びが増えた事で、自身の発する言葉の責任をより感じています。

自分の人生であり、他が本願な人程、物事の本質

に目も向けず他人を批判することが多いと、他人の行動や発言から冷静に見れるようになりました。

本当に自分の責任で生きてる人は他人を批判しません。意見が違ってもお互いの妥協点を見つけるのです。

社会全体に「何もしてない方が得」という考え方が広がっている。

「得」と「徳」ではある意味で真逆になる。

娑婆しゃは郎らう寂光じやくかうの世界を願い、お題目を唱え伝えた日蓮上人。800年後の今も私達に尊崇されるのは、「得」より「徳」に生きてきたから。

「何もしてない方が得」ではなく何かをして徳をつむことの方がより生き方として大人ではないか。

徳をつむ生き方を心がけたいと思います。

— 知識・経験から得られるもの —

蒸し暑い日が、続いていますが、皆様お変わりありませんか？

今年1月に、約8年間働かせていただいた「職場」を退職し、正職員として全く違う業種に転職し、半年が過ぎました。社内の研修から始まり、資格取得や社内の検定などが続き、学生以来の学習時間を費やしてきました。家事、育児との両立、学習時間の確保にはとても苦労しましたが、やっと一段落着いた所です。同期は9名。私と同年代の方は他に2名みえました。あとは、全員若く、何とかついて行かなければと頑張っていたのを覚えています。

勉強を通して自分の知らなかった事を知ることができ、それを周りの方にお伝えする事で喜んでいただけたりと頑張ってきて良かったと思える瞬間も沢山ありました。始めはどうなる事かと心配もしましたが、いくつになっても「やれば」できる!!

好奇心や向上心を持ち続ける事はとても大切なこと実感しています。

知識や経験が少ければ少く程、同じ経験を
された方との会話も腫くらみませぬ。又、その経験を
した方の気持ちも分かりませぬ。そんな時、どう声を
掛けられたら嬉しいかとか分かるので、相手の気持ち
に寄り添うこともできませぬ。

話は変わりますが、先日、主人がスピード違反で罰
金を払うことになったのですが、昔の私なら「何や、とる
の!？」と第一声、声を荒げていました。以前の
事故の経験から、お金を払うだけで済んで良かった。
人身事故にならなくて良かったと思えて自分がいまし
た。声の掛け方も必然的に変わりましたね…

まだまだ人生これからです。日々精進していきたいと
思っています。

< 7月 行事予定 >

7月 9日 (日) 13:00~ { 宗祖日蓮大聖人報恩会
盂蘭盆施餓鬼大法要
大古久尊天祈願会

7月 18日 (火) 10:00~ 鬼子母尊神
七面大明神) 祈禱会

< 7月 住職の予定 >

寺院 = 了法務

< 7月の予定 >

7月 1日 (日)	各々の時間で"	清掃、準備
↓	↓	↓
7日 (金)		
8日 (土)	9:00~	飾り付け
9日 (日)	法要後	片付け、準備
15日 (土)	13:00~	祭壇片付け、準備
16日 (日)	各々の時間で"	清掃、準備
↓	↓	↓
17日 (月)		